

ブルドーザーの足跡だね！

平成21年10月21日(水)、浜中町の一般農道整備事業熊牛南部地区の農道改良工事現場で、町立茶内小学校1年生16名の参加で、工事現場見学会を行いました。

授業で「働く自動車」を学んでいることから、「実際に現場で作業中の工事車輛を子供達に見せてあげたい」と同校からの要望があり、現在、本工事の施工を請負っている厚岸町のホクホウ建設(株)が快く応じ、釧路支庁農村振興課と共催で実現しました。

当日は午前中の工事現場での作業を休止し、小学校からバスで訪れる子供達を待ち受け、現場到着後、支庁から現場説明をかわきりに工事現場見学会を開始しました。

大きなヘルメットをかぶり、戸惑いながらも元気に工事車輛へ歩み寄る子供達。

マカダムローラーの運転席に乗せてもらう順番を待つ間、現場代理人が作成した「はたらくじどう車」のパンフレットを見て、「次はタイヤローラーだあ」、「ショベルカーにも乗れるの?」と普段近くでは見る機会の少ない、様々な工事車輛を前に眼を輝かせていました。

ダンプトラックで砂を運び入れ、ブルドーザーで敷き均す作業を実際に子供達の前で行うと、その迫力のある光景に可愛い歓声が上がりました。

キャタピラの跡を見ては「ブルドーザーの足跡だねっ!」と、おどける子供達の姿に目を細める作業員も多く、関係者全員の笑顔が現場に広がりました。

「こんな形でも、子供達の夢を少しでもかなえてあげられれば、幸せです。」と現場を提供していただいたホクホウ建設(株)の社長の言葉。

「楽しかった。」「また、ダンプに乗りたいつ。」 そう言い残して、手を振りながら学校へ戻る子供達を見送った後、再び現場はいつもの状況に戻りました。

この道路が完成したら、またここに子供達が訪れてくれることを願いながら。

